

2013年12月26日 かでの2・7
主催：石狩市公立小中学校事務職員協議会
主管：石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議

1. 会長挨拶

2. 出席者紹介

3. 日程確認

受 付	9:15 ~ 9:30
<テーマ1>	9:30 ~ 11:30
昼食休憩	11:30 ~ 12:30
<テーマ2>	12:30 ~ 14:30
休 憩	14:30 ~ 14:45
<テーマ3>	14:45 ~ 15:45
休 憩	15:45 ~ 16:00
<テーマ4>	16:00 ~ 16:45

- | | | |
|--------|-------------------|-----------|
| <テーマ1> | 保護者負担調査の交流と分析について | ・・・常 陸 |
| <テーマ2> | 「提言2013」見直しについて | ・・・各グループ長 |
| <テーマ3> | 輪転機・コピー機調査について | ・・・坂 地 |
| <テーマ4> | その他 について | ・・・坂 地 |

<テーマ1> 保護者負担調査の交流と分析について

1. 最近の研究交流の経過

- (1) 7月12日第43回連携会議で、保護者負担調査を提案、その後集計してHPに集計表をアップ。
- (2) 10月11日46回連携会議で、「保護者負担調査の分析について」提案、調査集計。
- (3) 11月15日47回関係会議で調査集計結果について論議
- (4) 12月13日日刊連携会議109号で「保護者負担公費化に向けてアンケート実施」

2. 冬季研修会の論点

- (1) 「保護者負担公費化に向けてアンケート」集計結果の交流
 - ①保護者負担の公費化のためどのような工夫がされているか。
 - ②保護者負担の内容や、金額に問題はないか。
 - ③今後、どのような場面から公費化を目指していったら良いか。
 - ④市内で足並みを揃えて取り組めることはないか。
- (2) 「2013 学校徴収金（学年教材費・各教科実習費・PTA会費等）実態調査」（2013/7/29「実践交流のページNo.38のテーマ3に掲載」）を活用しての交流。
 - ①「徴収金決定の際の事務職員の関わり」について、市経理との調整はどのように行っているか。
 - ②徴収金の決定に事務職員としてどのように関わっていくべきか。

<テーマ2> 「提言2013」見直しについて

1. 研究交流の経過

- (1) 5月10日の第42回連携会議において、2013年度のとりくみとして「提言」を実施できる体制を整えるために、提言の見直しを行うことが提起される。
- (2) 11月15日の第47回連携会議において、提言2～10を冬季研である程度の方向性を出せるように見直しを行うことを提案し了承される。

2. 作業分担について

- ①研究グループ 提言2～4の見直し
- ②調査研修グループ 提言5～7の見直し
- ③予算要望グループ 提言8～10の見直し

3. これまでの研究交流からの論点

- ①提言 2：「校舎カーテンクリーニングについて」

提言は行われているが現状改善されていない。提言内容にも謳われている校舎ローテーション方式が良いのか他の観点からクリーニングを実現させるべきなのか？
- 提言 3：「校舎ワックスがけについて」

体育館のワックスがけについて現状改善されていない。提言にもある「検討・協議」の場をいかに設定させ実現させるためにはどうしたら良いのか？
- 提言 4：「学校配分予算等の通知方法について」

提言内容1および2とも改善されていない。今後、どのような方向で改善していくのか？
- ②提言 5：「コンピュータソフト教材購入について」

コンピュータソフトの教材の状況は従前通りで変わっていない状況と思われます。提言としこのままで良いのか？
- 提言 6：「執行決議書の改善について」

提言内容にある規則改正は行われていません。今後は、どのような方向で市教委に要望していくのか？
- 提言 7：「市教委発公文書の学校配布方法について」

提言にある検討する場は設置されていません。今後もどのように市教委に要望していくのか？

か？説明文のデータが平成22年のままであるがこのままで良いのか？

③提言 8：「図書費の執行について」

次年度から図書費の執行は図書館が主導になりますが、今年度のようなバタバタが無いように図書館と連携を綿密に行わなければなりません。どのような提言内容が良いのか？

提言 9：「児童生徒名前のゴム印の公費化について」

提言内容にある配分外予算としては現状なっていない。今後、どのように市教委に提言していけば良いのか？

提言10：「職業体験学習の生徒旅費の措置について」

提言内容について、現状は従前と変わっていません。提言内容を実行してもらうためにはどうしたらよいのか？

<テーマ3>輪転機・コピー機調査について

1. 研究交流の経過

- (1) 5月10日の第42回連携会議において、2013年度のとりくみとして「印刷機およびコピー機更新のサイクル表」を作成して欲しいとの要望意見が会議の中で提案される。
- (2) 6月14日の第43回連携会議において、提言1「コピー機・輪転機の更新について」の提言見直しについて事務局から提案する。(前年度は3月中旬に市教委から機械更新の通知あり。希望集約や意見を言う機会もなく機械更新の連絡あり)
- (3) 7月12日の第44回連携会議において、調査・研修グループより輪転機・コピー機調査についての提案が行われる。(輪転機において保守点検の有無および月額契約金額に学校によって差があることが判明する)
- (4) 10月11日の第46回連携会議において、調査・研修グループより調査用紙の提案及び配布が行われる。(前回の調査では調査対象になっていなかった浜益・厚田地区も今回は調査対象にして調査を行うこととした)
- (5) 11月15日の第47回連携会議において、前回の調査用紙の集計結果を中間報告する。この調査に更新時期や平均カウンター数、リース単価を調査に加えて冬季研修で協議する事を確認する。

2. これまでの研究交流からの論点

- (1) 提言1の提言内容1「コピー機・輪転機の更新に際しては、学校との事前協議に基づき進められること」となっているが、今年度の対応で十分だろうか？
- (2) 提言1の提言内容2「リース料・リース期間、保守点検などの契約内容と更新に関する基本方針が各学校に示されること」となっているが、現状不十分でないか？
- (3) 輪転機およびコピー機の更新サイクルについて基本的にカウンター数に関係なく5年サイクルになっている。別紙を見ても5年目でのカウンター数に大きな隔たりがある。カウンター数の多い学校は、機械の耐用カウンター数に見合う年数に臨機応変に対応してもらえないか？
- (4) FAXのリースについて、コピー機と一本化(緑苑台小・樽川中を除く)を目指して提言内容3として項目を起こしてみてもどうか。
- (5) 輪転機とコピー機の窓口について旧市街地区は教育委員会、浜益・厚田地区は各出張所が担当している。今後もこのままで良いのか？旧市街と浜益・厚田地区で格差がつかないようにしていかなければならないのではないか？(同一の対応を望む)

提言見直し（研究部）

提言1・・・基本的に前回同様の内容でOK

①の変更 3社→全社？

②の変更 最安2.2円→2円、最高5円→3.1円

提言2・・・平成21年頃の調査結果のうえであるので、再調査が必要

ローテーションも必要だが、計画的な新規更新も視野に入れる必要がある。

提言3・・・いつか？の調査結果のうえであるので、再調査が必要

業者（専門）委託は非常に現実的ではないと思われる。また、体育館塗布はより専門的技術が求められるため、シルバーでは厳しいのでは・・・

提言4・・・基本的に前回同様の内容でOK

補足として、予算配分に関わる学校教育課以外の部署にも参加してもらい、各々周知を図る必要がある。（例：図書館、特支センター等）

併せて、所管備品のあいまいさ（総務？施設？学校教育？）の解消や、施設予算（塩カル等）の取り扱いについても、学校教育課が中心となって、明らかになるようにしてほしい。

提言の見直しについて 提言5～7

調査研修部

調査研修部のみなさんから集まった意見は下記のとおりです。

提言5

- ① 学校のコンピュータは「児童・生徒用」「教職員用」「メインのようなもの」等使用目的も使用者も多岐にわたっている。が、現在の購入方法では、「児童・生徒用」コンピュータソフト教材購入予算、「教職員等」→消耗品費からの購入になる。いつもうまく要望が出てくればよいが、いろいろな場合が想定される。特にコンピュータソフト教材があまりなく、ほかのソフト購入があるときは無駄が多くなる。（結果的には、あまり必要なさそうなものを無理やり買い、消耗品でも購入することになる。）ことも考え、有効な活用のため③の小額ソフトについては、配分消耗品で購入する仕組みにする。一番良いのは、パソコンソフト購入費として配分予算に上乗せして配分されることである。（現状通り？）
- ② 予算額を増額してほしいことをつけ加えてはどうか。例年、予算額が少なく希望するソフトを購入できない状況です。（追加）

<意見>

- ① 中学校では、高額なソフトが要望に出る傾向がある。そのため、予算超過という部分で購入できないケースやまた、たくさんの児童・生徒用パソコンがある学校ではライセンスの問題から全てのパソコンにソフトが入るまで数年間かかりなかなか、整備が進まないという現状がある。
- ② 理振のような何年かに1度、市内の学校が輪番で当たるような購入方法もあるのではないだろうか。（①のような状況を改善する方法として）

提言6

- ① 市経理執行決議書の処理にかかわり、・・・・・・・・と思われます。
しかし、予定単価が10万円未満には、平成16年4月から見積書の省略ができることになったため「2日」の期間については、その必要が消滅していると考えられます。
また、学校現場では、授業に使用するため「当日発注・当日納品または翌日納品」ということが現実であり、決済から発注まで「2日」を待てないのが実態です。
このような学校の実態及び決議書作成の効率化という観点から、連携会議としては「同日可」とすべきと考えます。（追加）

- ②取り下げてもいいのでは？と思っている。これに関しては各自治体でやり方が違うし石狩

方式と考えればこれもありだと思ふ。(修正 or 削除?)

<意見>

- ① 学校現場の実態(現状)を記述した方が良い。

提言7

- ① 下から9行目「この度の校務用LAN導入……」とあるのは過去のことと思われるがいかがでしょうか?

前段の文を使用するのであれば、要点をまとめた方が良く思ふ。

具体的な案を箇条書きにした方が、読む側とすれば理解しやすいのではないのでしょうか?(提言1~5のような形式)

例 文書のIT化

- 1) 市教委のサーバーに掲示板方式で表示され、学校はサーバーを随時アクセスして適宜処理する方法。
- 2) 校内においてはグループウェアを配備して、全職員が同時一斉に必要な文書情報にアクセスできるようにする。

- ② 各学校の校内LANが整備されたので、提言時より現実味が増したように思ふ。

ここは、細かいことは言わずに(100枚印刷は大変とか、消耗品費の中の印刷費は?%とか)こちらも組織立てて統一的な見解をだし、教育委員会と具体的に話していける環境を作っていく方が、良くも悪くも進展がみられると思ふ。

- ③ 下から4行目 年度と下から3行目 全校平均の%を最新のデータものにした方及び数値に変更した方が良い。

<意見>

- ① 例のように簡潔にまとめた方が良い。
② 最新データに数値を変更。

提言の見直しについて ～予算要望部担当～

◎見直し方法：全体について（提言8～10に限らず）

現行提言スタイル、上段より、●「提言」、●「提言内容」、●「説明（提言に至までの経緯、基となる調査結果、etc）」

「説明」はあくまでも当時のものであり、現在の状況に照らし合わせた場合（するしないの議論は別として）は、文言の整理や、調査データの更新が必要となります。

意見①：現況に合うように、まるっきり書き替えてしまう。

意見②：現況を追加で記載する。

例) 2013年度の状況は、こうこうこう…です。（文章を追加）

意見③：過去の提言を見直すという提言を新設する（提言を増やす）。

例) 提言21 「提言8 図書費の執行について」の見直しについて

このような意見がありました。

◎提言8 図書費の執行について

○付加すべき点

- ・将来的には学校から購入希望のリストを図書館に提出し、図書館から納品されるシステム作りを。

○修正する点

- ・2013年度から学校教育課所管から市民図書館所管に変更。
- ・発注決議の後2週間たたないと次の発注ができない 2週間 → 1週間あるいは3～4日

○その他

- ・調査結果について、新たに調査をするか、いつの調査のものかを記述した方が良いのでは。
- ・執行手続が一度で済まず、面倒であることに何ら変わりはないので、再調査は必要ないと思います。

◎提言9 児童生徒名前ゴム印の公費化について ※提言内容：学校配分予算以外の公費で

○付加すべき点

- ・現時点での状況を再調査し付加する。

○その他

- ・調査が2009年のもの、文面で最新の情報が2011年4月（予定）となっているので、新たな調査が必要かと思います。
- ・あくまでも配分外を提言するのなら、新小学一年生の人数×名前印単価の金額を提示しても良いかもしれません。この場合は各学校の現状調査は必要なしで良いかな？

◎提言10 職業体験学習の生徒旅費の措置について

意見がありませんでした。